
千葉キャンペーン

2024年12月9日



入江研究室

千葉大学環境リモートセンシング研究センター

横田海人ヲヒム

2024年12月9日15時の観測結果

□ 千葉サイトにおける気象観測の実況値を国際式の天気記号記入方式で作成する

地上観測データ(Maximet)

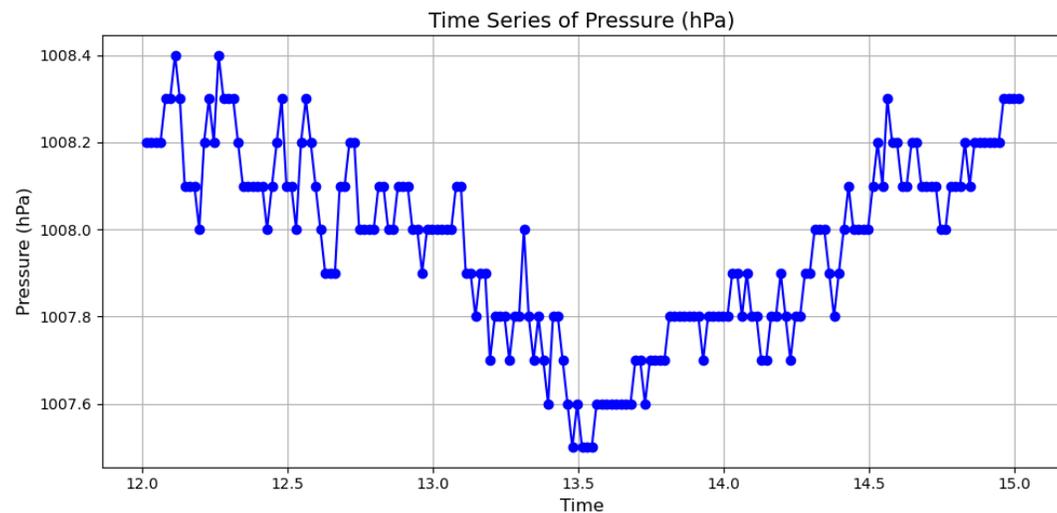
- ・ 風向・風速 319.58°・6.89 kt  北西の風、風速3.54 m/s
- ・ 気温・露点温度 12.5°C・-1.4 °C 湿数がかなり大きく乾燥している
- ・ 気圧 1008.3 hPa
- ・ 気圧変化量(前3h) -0.1 hPa
- ・ 気圧変化傾向(前3h) 下降後上昇

目視観測またはスカイビューカメラ

- ・ 現在天気 快晴
- ・ 視程 66km (筑波山まで見えた) コード:87
- ・ 全雲量 8分雲量で8分の1
- ・ 下層雲量 1以下(下層雲がないため中層雲量を適用)
- ・ 下層雲形 なし
- ・ 中層雲形 半透明状の高層雲
- ・ 高層雲形 なし

2024年12月9日15時の観測結果

▶ 前3時間の気圧変化 下降後上昇



▶ 北東方向に筑波山(66 km)が見えた



▶ 西の空 富士山は雲の中



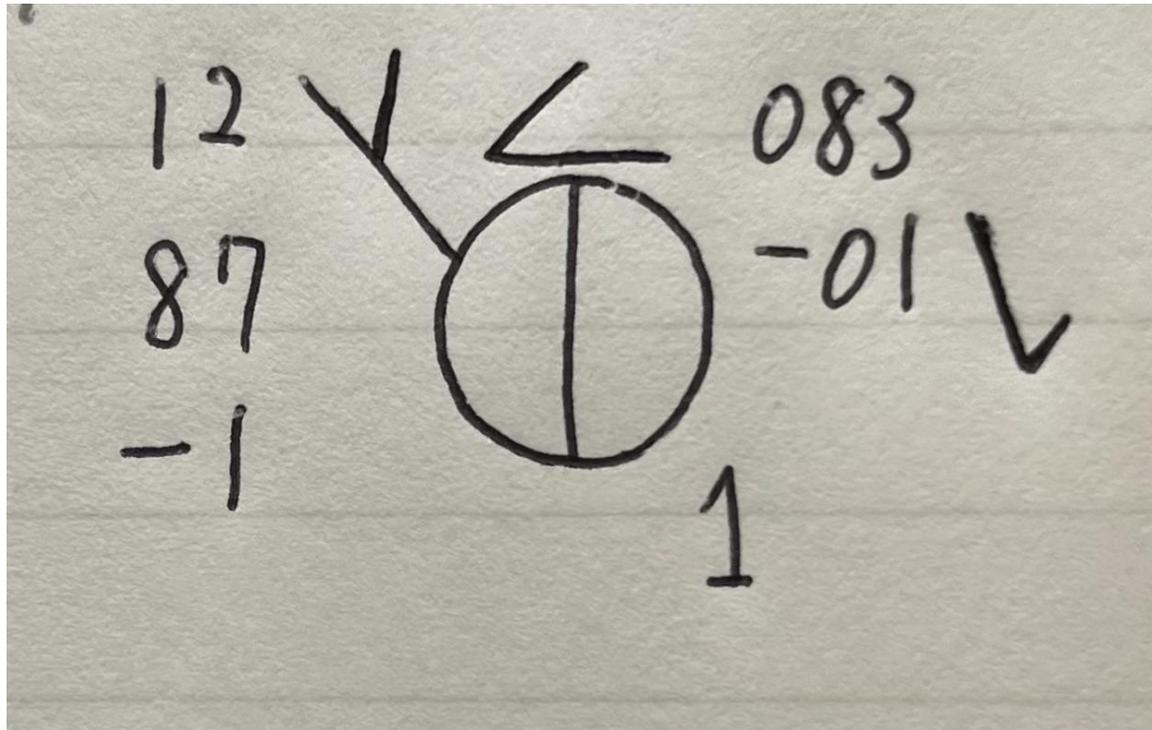
▶ 南西の空 高層雲？



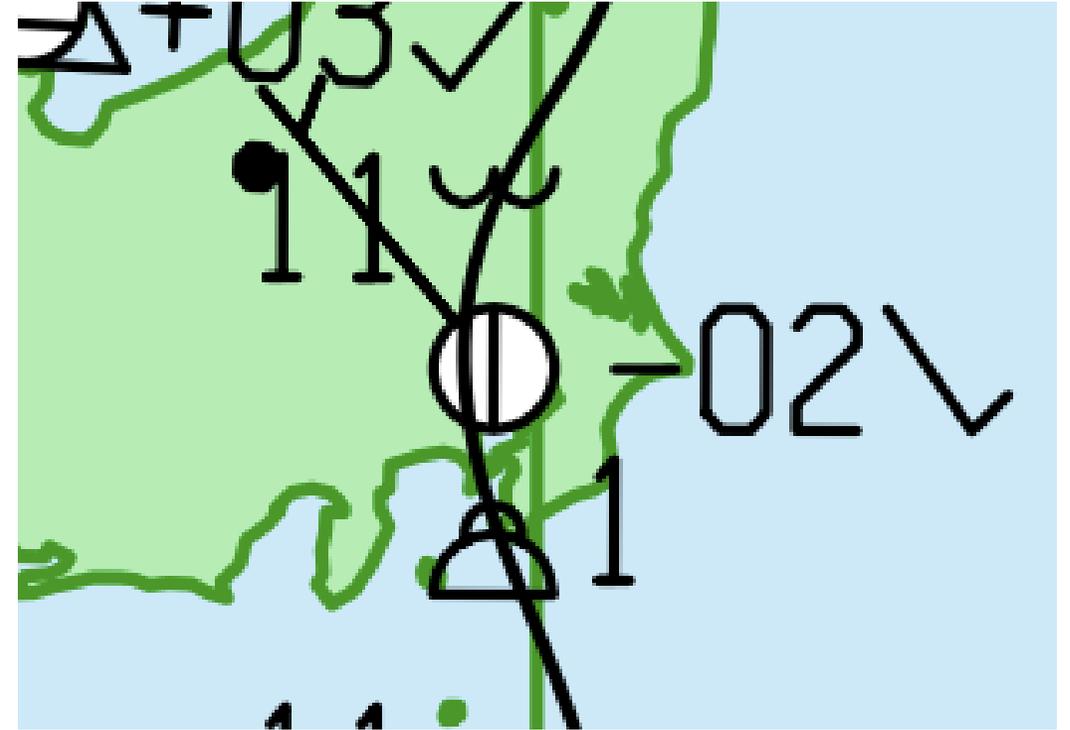
国際式の天気記号記入方式で作成 ⇒ アジア太平洋天気図と比較

▶ アジア太平洋天気図上の東京の観測(17時30分発表)と比較してみた

▶ 千葉 2024年12月9日15時



▶ アジア太平洋天気図 東京 2024年12月9日15時



アジア太平洋天気図と比較

- ▶ **全雲量・下層雲量**は一致した。
- ▶ **風向・風速**も一致した。
- ▶ **気温**は1度、千葉が高かった。(前回12/5の東京との比較でも気温差は1度であった。)
- ▶ **気圧変化量**はほぼ同じ、**気圧変化傾向**は一致した。
- ▶ **雲形**の判別は異なる結果となった。東京では、下層雲が「中程度以上に発達した積雲」
中層雲が「半透明状の薄い高積雲」となった。

今日は、南西方向に遠く離れた雲の判別を行わなければならず、雲の高さ・形ともに難しかった。しかしながら、全体的に一致する気象データが多い結果となった。